

動物行動学は決して擬人化してはいけません。しかし、観察したことを擬人化することは、観察や調査を楽しく継続する一つの方法となるものです。擬人化は、毒草のようなものと言えるかもしれません。うまく使えば薬になりますが、使い方を間違うと致命的にもなってしまうからです。

ねらい

動物たちの行動の観察を、楽しみながら行なうことができるようになる。

達成目標

- ・四コマ漫画を完成させる。
- ・野鳥の行動について感じたこと、気づいたことと言えるようになる。
- ・他の人の作品から、自分が感じたこと、気づいたことをコメントできるようになる。

導入

野鳥はどんな行動をしているでしょう？ワークシートを使った作業の手順を説明する。
(ワークシートは拡大して使う)

ふりかえり・わかちあい

一連の作業を通して、感じたこと、考えたことなどを話し合う。

本体

観察できたイラストをチェックをする。チェックしたイラストを切り取ってワークシートに貼り付け、ナレーション(解説)、せりふなどを書く。できあがった作品を紹介し合う。

まとめ

今回のプログラムは、いわば擬人化であることを伝えます。擬人化にはそうする理由が明確でないときには使うべきでないことなど、擬人化に関するコメントをしておく。

実施のポイント

プログラムを実施する時は、擬人化の問題はとりあげずに楽しもう。イラストにない行動が観察できたら、自分でイラストを書いてもよい。

◆所要時間	60~90分
◆人 数	何人でも
◆関連教科等	総合的な学習の時間、国語、理科
◆焦点を当てる能力	観察する、まとめる、文章を作る
◆準備するもの	ワークシート(拡大して使う)、クリップボード、筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲、危険な場所について活動前にきちんと伝える

評価の視点

四コマ漫画づくりに一生懸命取り組んでいたか。行動観察を通して自分のコメントが言えたかどうか。

発展・応用

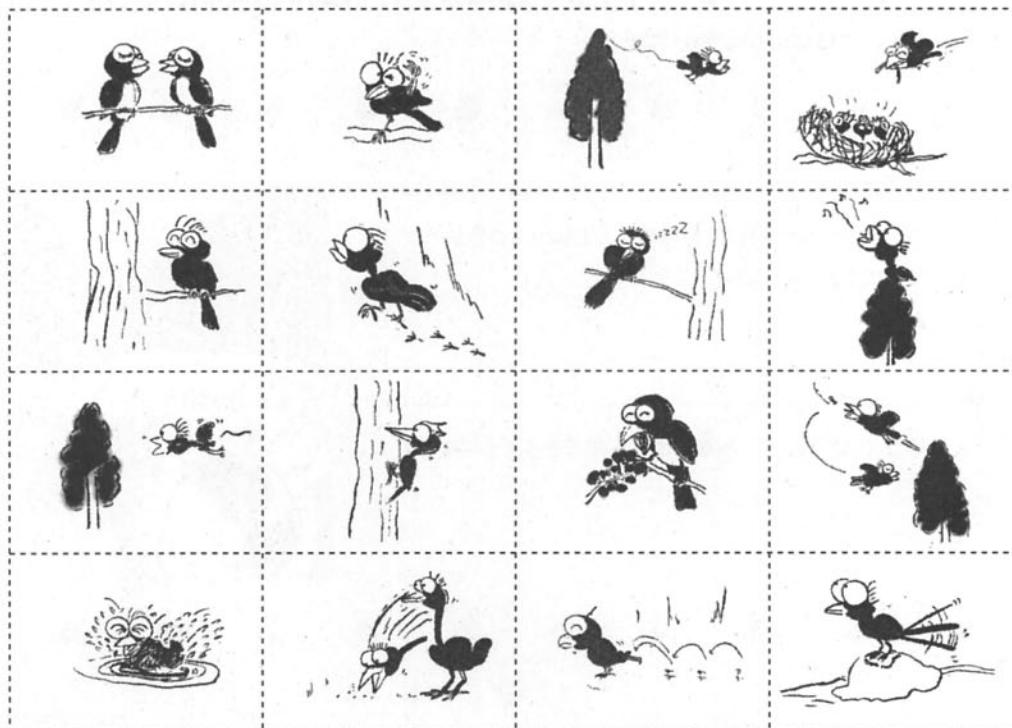
擬人化と動物行動学の本質との違いをディスカッションしてみよう。

引用文献

「平成11年度環境教育活動報告書」
山のふるさと村ビジターセンター

オリジナル／自然教育研究センター

かくだい
※B4に拡大して半分に切り取って使いましょう。



◆ 上の絵を切り取って貼り、4コマの物語をつくりましょう。

切り取り

題名:	